

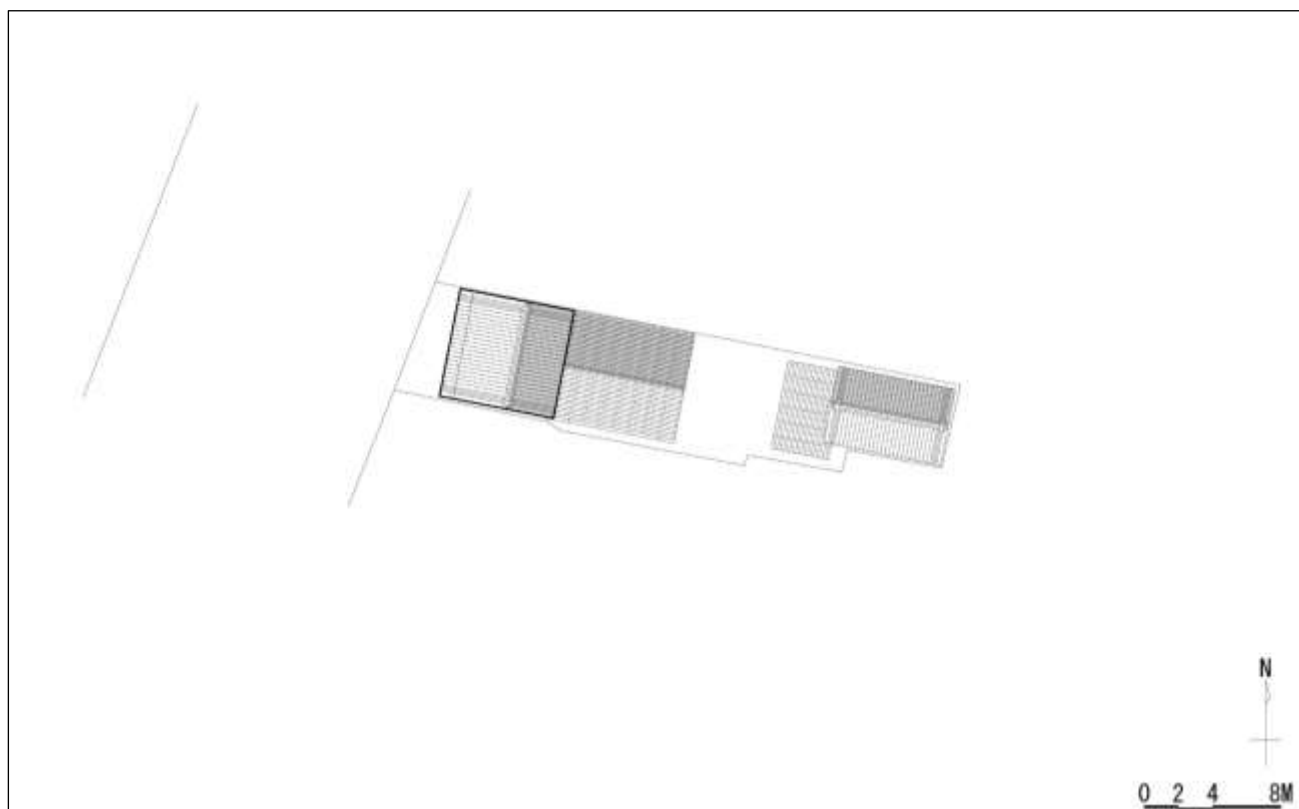
歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	10	名称	日光珈琲蔵ノ街【綿忠はきもの店店舗】
指定年月日	令和2年3月11日	所在地	栃木市万町340番地7
所有者氏名	栃木市長 大川秀子	所有者住所	栃木市万町9番25号
建築年代 (根拠)	安政3年(1856)建築 (墨書)	規模・構造	木造 瓦葺 2階建
特徴等	<p>大通りの東側、比較的小規模な2階建棧瓦葺の見世蔵である。見世蔵は小屋梁(中引梁)の墨書から安政3年(1856)5月の上棟であることが知られる。</p> <p>「綿忠」は創業から6代目を数え、初代藤平卯平は文化4年(1807)の誕生と言われる。はきもの商を始めたのは3代目の時からで、それ以前は、この店舗で合羽や傘を扱っていた。はきもの店として近年まで商売を続けていたが、現在は市が取得し「カフェ併設型の移住体験宿泊施設」としてコーヒーショップに活用されている。</p> <p>見世蔵は切妻・平入で、間口3間、奥行2.5間に、約4尺の下屋庇を設けている。全体の規模は現存する他の見世蔵に比べて一回り小さいが、それだけ古い形式をとどめている。すなわち、2階の軒先を出桁造とせず、通りに面して引戸を用いた庇付きの小さな窓を2つ並べ、棟や影盛りもごく控え目である。</p>		
形成する歴史的風致 (指定理由)	<p>商家町栃木にみる歴史的風致(栃木の山車祭りにみる歴史的風致)</p> <p>山車祭りの舞台である歴史的な町並みを構成する建造物であり、歴史的建造物が建ち並ぶ町並みを背景に山車が巡行する。</p>		
備考	登録有形文化財(平成12年(2000)10月18日)		





日光珈琲蔵ノ街 案内図



配置図